

# 平成23年度北海道自閉症協会札幌分会(札幌ポプラ会)主催 教師と支援職・保護者のための特別公開講座～ご報告～

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻理学・作業療法学講座 准教授の岩永竜一郎氏にご登壇いただきました今年度の特別公開講座は、11月26日(土)、自治労会館にて無事、終えることができました。

当日は226名の皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。

また、定員を超えるお申込をいただき、参加をお断りした皆様にはご希望に添えず、大変申し訳ございませんでした。

今年度の公開講座は参加者の8割の方は、学校の先生、様々な職種の支援職の皆様でした。全道のさまざまな地域からもご参加いただきました。

また、札幌市教育委員会教育推進課より特別支援教育巡回相談員の研修として6名の皆様にもご参加いただきました。誠にありがとうございました。

特別公開講座の案内周知につきましては、札幌市教育委員会指導室特別支援教育班の山田様、札幌市特別支援教育研究連絡協議会 会長の美香保中学校 櫻井校長先生、事務局長の平野先生にご協力をいただきました。また、石狩管内教育センター様にも石狩管内の小中学校への案内周知にご協力いただきました。あらためて、お礼申し上げます。

その他、関係機関、団体の皆様、周知活動にご協力いただいた会員の皆様にもお礼申し上げます。

岩永先生には、午前・午後とご講演いただき、自閉症の人の感覚の問題、その背景にある神経学的問題、その他身体に関する問題、過敏への対応等について教えていただき、感覚統合での実践場面を拝見させていただきました。また、午後は参加者の皆様からのご質問にも丁寧にお答えいただきました。

最後にまとめとして、「感覚の問題を持つ、ASD児者は多い」こと、「感覚処理の問題は様々な形で生活や学習に影響を与えている」こと、「感覚の問題は当事者にとって深刻な問題であるが気付かれにくい」こと、「周囲の人の理解と配慮、

環境調整が必要である」こと、「構造化が効果的である」こと、「受け入れられる感覚刺激を情緒の安定や遊びに活用する事も大切」であることをお話いただきました。

「過敏の問題は一つの身体障がいと思ってほしい」・・・とおっしゃっていた言葉も私たち ASD の子を持つ親にとっては、心に残る言葉となりました。



